

コシアブラの根ざし法による増殖

1 はじめに

コシアブラは樹高10~20mほどに成長するウコギ科の落葉高木で、葉は比較的長い柄を持つ掌状複葉となります。

このコシアブラの若芽は、山菜としての人気も定着してきており、最近では、春になると県内のスーパーや農産物直売所などの店頭でもよく見かけるようになりました。

ほぼ同じ時期に採取されるタラの芽などと並んで50~100g程度のパック詰め販売が多いようです。

市場に出荷される若芽の中には天然木からの採取ものも多いと考えられます。このため、時として里山の天然木が若芽採取のためだけに無断伐採されるという事例も見られるようです。

こうしたことから、人工増殖についての関心も高まってきており、当センターにもコシアブラ増殖に関するお問い合わせが寄せられるようになってきました。

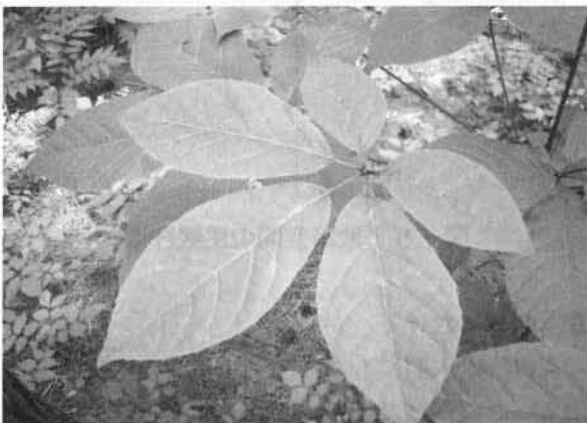


図-1 コシアブラの葉

そこで、当センターでも各種文献などを参考にコシアブラの増殖法等についての検討をおこなっています。このなかで、今回は根ざし法による増殖法を試みたので紹介します。

2 方法

コシアブラと同じウコギ科の植物にタラノキがありますが、これは根ざし法によって増殖が行わ

れることが一般的です。そこで、コシアブラについても同様の方法で増殖を試みてみました。この際、茨城県での紹介例なども参考にしました。

コシアブラは樹高1~1.5m、根元径10~20mm程度のものを使用しました。これらを4月上旬に根を傷めないように丁寧に掘り出します。

まず、掘り出したコシアブラの地上部を切断し、根のみとします。これを、根元に近い方から長さ10cmごとに丁寧に切断していきます。こうして、植え付け用の分根ができます。今回使用した分根は、根元から30cmまでの範囲としました。

タラノキの根ざし法では通常は直径4~5mm以上の根が使用されています。根元から30cm以上離れた根では、直径が5mm以下となるものが大半であったため、今回の試験では使用しませんでした。

次に用土を準備します。用土として、鹿沼土と通常の山土(当センター森林内のA層土壌)を使用しました。

これらの用土に準備した分根を深さ2~3cmで横に並べるように土中に埋め込みます。これで作業は完了です。

今回は大型のプランターに用土を入れ、そこで増殖を試みました。分根の植え込みを終えたプランターはビニルハウス内に置き、用土が乾燥しないよう適宜散水して管理しました。

3 結果

約5ヶ月後に掘り出して分根からの発芽状況を確認したところ、表-1のとおり、苗条が得られたのは根元から10cmまでの部位がほとんどでした。

また、分根の直径を見てみると、苗条が得られた分根は、ほぼ直径10mm以上のものでした。

用土については鹿沼土と現地の山土を使用しましたが、得苗数に著しい差はありませんでした。

4 まとめ

これらの結果から、コシアブラは根ざし法によ

る増殖が可能であることがわかりました。

ただし、根の中でも根元から10cm 程度までの部位を使用し、かつ、根の直径は10mm 以上が望ましいものと考えられました。

また、今回の試験では直径10mm 以上の分根で約40日後では発芽が見られたにもかかわらず、その後枯死したものが2つありました。原因としては、用土の水管理に問題があったと推察され、用土は比較的乾燥気味でも良いように思われました。今後はこの点も検討していく必要があると考えています。

なお、用土は土質にもよりますが、コシアブラの自生する箇所であれば、現場の山土でも十分であると考えられました。

今回の結果からは、コシアブラの大量増殖には直接的には結びつきませんが、今後さらに検討を重ねていきたいと思っています。

(特産部 高木 茂)



図-2 根を長さ10cm 程度に切り分けたところ



図-3 プランターでの発芽状況

表-1 コシアブラ分根増殖試験結果

(供試木3本当り)

単位: mm

用土	鹿沼土		山土	
	分根直径	得苗	分根直径	得苗
10cm	13	○	20	○
	16	○	18	×
	13	○	13	×
	11	○	15	○
	12	×	14	○
	9	×	9	×
	8	×	8	×
	6	×	5	×
	5	×		
計	9本	4本	8本	3本
20cm	20	×	17	×
	12	×	11	×
	12	×	9	×
	11	×	11	×
	9	×	8	×
	7	×	8	×
	8	×	9	×
	6	×	6	×
計	8本	0本	8本	0本
30cm	9	○	9	×
	9	×	10	×
	9	×	9	×
	9	×	7	×
	7	×	7	×
	7	×	6	×
	5	×		
計	7本	1本	6本	0本

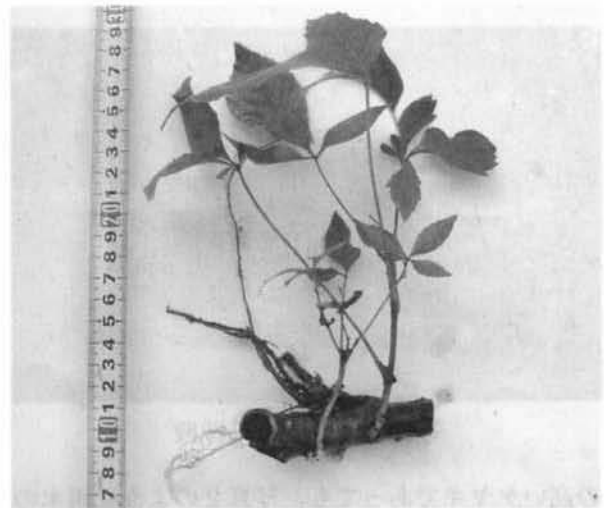


図-4 発芽した分根